

NPO 日本医学ジャーナリスト協会 西日本支部 **特別講演会**

地域のいのちを支える ～終末期ケアの現状と未来

日時：6月1日(金) 19:10～20:10

福岡市 NPO・ボランティア交流センター
会場：あすみん セミナールーム
福岡市中央区今泉1-19-22 天神クラス4F



会費：2000円 (会員 1000円)

参加対象：支部会員、及びその紹介者、同伴者



講師：矢津剛氏 医師 第69回保健文化賞受賞(平成29年度)

医学博士。長崎大学医学部卒業。行橋市在住。矢津内科消化器科クリニック理事長・院長。
在宅ホスピス支援ハウス「ひと息の村」村長。NPO 日本ホスピス緩和ケア協会 常任理事 ほか。
〔著書〕「在宅ホスピスのススメ」「そこが知りたい在宅療養」(各分担執筆) ほか。
「今日の治療指針・・・地域密着サービスの活用」平成31年発行予定。



国が推し進めている地域包括ケアにおける終末期ケアの像が見えてこないことと、地域住民が終末期を意識できないこと、最先端医療が発展したとしても、平均寿命と健康寿命の差はなかなか縮めることができないことが問題です。

社会はすでに超高齢社会のど真ん中にあり、人口減少社会に入りつつあります。どの業界も人手不足、マンパワーの衰退が問題になっていますが、医療介護の領域も同様です。

医療介護倫理を再構築し、市民にどう権利と義務を意識していただきながらモチベーションをもって生きていただくか、障害があっても平等で豊かな老後と活気ある若年層の力をどうコラボさせるのか、皆様方とお話しできれば幸いに存じます。

日本医学ジャーナリスト協会西日本支部 通常総会

6月1日(金) 18:00～19:00 あすみん セミナールーム

講演会終了後、20:20 から会場近くで懇親会 会費 4500円予定